○唐松神社

現在の唐松神社は、低地に建つているが、佐竹候の国替時代は裏手の唐松山にあつた。藩主義処公が領内御巡見の折、下馬札を無視して里を過ぎようとして落馬されたため、義処公は怒つて平地に神社をおろして建てさせた。その後の巡視の際も同様の事件が発生し地を掘り下げさせてお宮をたてさせたためという。（荒川）